

一般社団法人

徳島地域エネルギー

Tokushima Regional Energy

General incorporated Assosiation

エネルギーをハピネスに!

徳島地域エネルギーの業務内容

自然エネルギー推進の
コンサルティング

太陽光・小水力発電所等
のメンテナンス

ETA社のバイオマスボイ
ラー輸入代理店業務

ETA社のバイオマス設備調査設
計設置及びメンテナンス



徳島地域エネルギーの取組

※発電のCO2削減量は四国電力のCO2排出係数より算出、バイオは削減する化石燃料の排出係数から算定

地域民間太陽光コーディネート
1.5 MW

113億4,000万円 (20年)

CO2 7,500トン/年

コミュニティハッピーソーラー
1.75 MW

13億2300万円(20年)

CO2 875トン/年

自社ソーラー 1.5 MW

11億3400万円 (20年)

CO2 750トン/年

木質バイオマスコーディネート
36台 5 MW (熱)

10億円 (15年)

CO2 3,100トン/年

小水力発電事業 50 kW

2億円 (20年)

CO2 150トン/年

事業利益 合計150億4,600万円

CO2削減量 合計12,375トン/年



ご寄付あり
がとうござい
ました。

佐那河内
**みつばちソーラー
発電所** Community Happy Solar
Established: Regional Energy Security, Environmental Protection

この発電所は、一般家庭30軒分の電気を創り、
CO₂を年間約50トン削減します。

エネルギーの地産地消と持続可能な地域づくりのため佐那河内みつばちソーラー発電所をつくりました。
この発電所の売電収益は、経費を差し引いた後、佐那河内の地域に還元されます。300万円を100%の地域でエネルギーを作り、
この発電所の建設にあたり、皆様のお気持ちを活かす。

直接経済効果 8,500万円(20年)
CO₂削減 年50トン

佐那河内みつばちソーラー発電所連絡先: 088-624-0375 (産直地域工場4号1号)



ヒツジによる除草



ビオトープの整備



進入路植栽



地元産直市と連携し、農産品で寄付の返礼品



海の
ソーラー
牟岐

徳島県牟岐の牟岐町は、太平洋の黒潮に負し、とても温暖な気候で、夏には海水浴やサーファーなどで賑わいます。その豊かな海は海産物に恵まれ、あわび、とこし、アオリイカ、太刀魚、ハマチやあじ等様々な種類がとれます。海のソーラー牟岐はこの豊かな自然を利用して、地域支援のためにコミュニティハッピーソーラーを行います。



町遊休地



旧小学校屋上

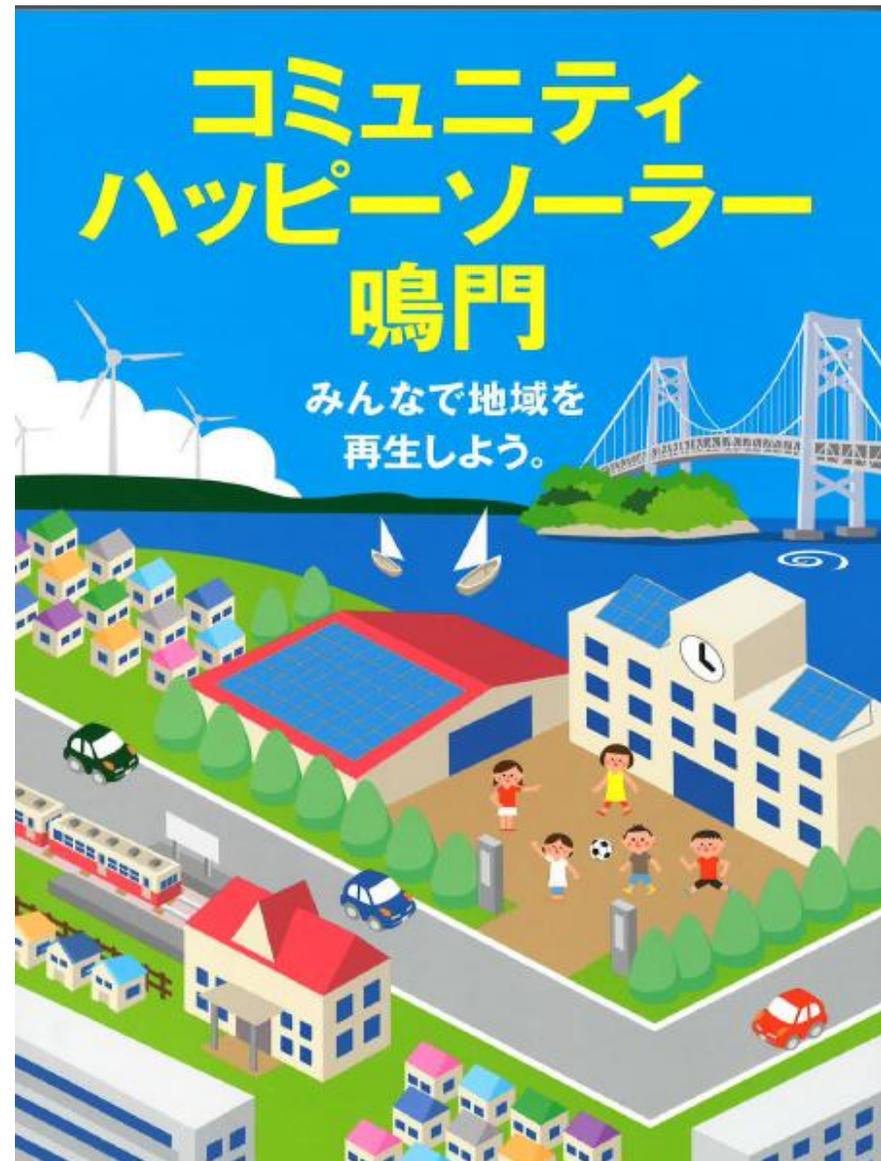


返礼品 = 牟岐漁協及び商工会と連系

コミュニティ・ハッピーソーラー鳴門

コミュニティ ハッピーソーラー 鳴門

みんなで地域を
再生しよう。



コミュニティハッピーソーラー 鳴門

太陽光発電所の概要



予定場所

瀬戸小学校、板東小学校、
鳴門西小学校、鳴門第二中学校

鳴門市の小中学校校舎に太陽光発電を設置します。
日照が大変良い校舎屋上を活用し、
地域の振興を目指します。

■発電量など

パネル量	161 kW
パワーコンディショナー	143 kW
最大出力	38.5 kW
最大出力	49.5 kW
最大出力	33 kW
最大出力	22 kW
年間発電量(予定)	162,500 kWh
年間売上	約520万円
年間CO ₂ 削減削減量	約110トン
事業主体	徳島地域エネルギー

鳴門市

鳴門市は、四国の東端、徳島県の
北東部に位置する、
鳴門海峡の渦潮が
有名である。



学校屋上4箇所 (全て低圧連系)

合計出力 143kW (パワコン)

年間発電量 162MWh

年間売上 約520万円

事業主体 徳島地域エネルギー

寄付金募集 300口(300万円)

お礼：鳴門市特産品
(2回送付予定)

収益の1/2を鳴門市に寄付。
地域の振興に役立つ。



太陽光発電の売り上げ一部を寄付 徳島地域エネルギーが市と覚書 鳴門市 | 徳島の話 | 徳島ニュース...

表示 >

利益の地域還元ソーラー

(2014年～現在)

鳴門商工会議所を事業主体に、商工業を直接支援するソーラーを私有地に建設

経済効果8億円



鳴門衛生センターソーラー（ゴミ焼却炉移転跡地） 300kW



牛屋島ソーラー 680kW

建設10年後の令和5年度（2023年度）より10年間年間1,000万円を鳴門市に寄付実施が決定。地域振興と脱炭素社会の建設事業に活かす。

（令和5年7月12日市と鳴門太陽光発電所との協定を締結、議会承認を受ける。写真左は泉鳴門市長）


 暖房や給湯のエネルギー=50.9%
 (2014年度エネルギー白書による)

**化石燃料から
木質バイオマスへ**

コミュニティー・ハッピーボイラーのすすめ

Q & A

Q1 なぜコミュニティ・ハッピーボイラーと呼ぶのですか。普通の大型バイオマスボイラーとどこが違うのか。
 1 数棟であればチップ・ペレット・竹・草本類など地域の産品のバイオマスが利用できます。地域に密着しての供給が最大の強みです。
 2 ボイラーは設置及び管理が地域であるため、地域外にお金が回っていきません。
 3 故障、修理、運転などがすべて地域の仕事になります。

Q2 このボイラーは特定の組織になるのですか？
 地域で設置できる小規模なボイラーで、利益を地域に還元し地域的な利益をのぞくボイラー会社が出て参入できません。現在は、地域で導入しているオーストリアのEIA社で行ったこととしていますが、我が国ではこれでも条件を満たせば参入できます。

Q3 海外のボイラーでは、国内に設置が難しいのではないですか？
 ボイラー本体の価格はあまり高価なものではありません(100万円程度)。10万円の送料、設置経費、燃料や管理経費は地域におよぶため、初期費用の割に国内利益が得られます。

Q4 これらボイラーのエネルギー効率はどのくらいですか？
 欧州基準で「クラス6」水準のボイラーで、エネルギー効率は90%以上となっています。発電では燃費が小さいと定評があります。バイオマスの効率はエネルギー効率が高くて高いことは大卒でも小卒でも変わりません。



**熱は熱で
Heating for heat.**


 Takushima Regional Energy
 General Incorporated Association

一般社団法人 徳島地域エネルギー
 〒770-0935 徳島県徳島市伊予町1-32
 Tel. 088-624-8375 E-mail: info@trenergy.jp



栽培室の現状



お礼は2年に1回
シイタケ詰め合わせセット



広葉樹林の可能性を追求する燃料実証事業です



フェラバンチャーによる作業道開設



支障木の伐採



くさびによる伐倒



搬出前の伐区の状態



搬出後の伐区の状態



切株からの萌芽

チップ化の様子



枝先まで燃料化

神戸バイオマスラボ

人材育成と普及啓発の 拠点を整備

- ・ 燃料粒度試験
- ・ チップの燃焼試験
- ・ 燃料の乾燥
- ・ バイオマスの研修
- ・ 各地の支援
など

見学もできますのでお越
しく下さい。

